

さんよう広場

三宅副院長のご挨拶

日本では年度始まりは4月となっています。官公庁の会計年度、学校年度といった具合に、4月に始まり、3月に終わるこの慣行は、明治時代に学校制度の普及とともに定着していったそうです。穏やかな気候や桜・新緑といった自然環境とも相まって、「4月始まり」は日本人に馴染みやすかったのではないかとされています。逆に言うと、江戸時代の人たちにとって、満開に咲く桜は「春」や「美しさ」を感じさせることはあっても、「出会い」や「旅立ち」を連想させることはなかったということです。ちなみに調べますと、花見として桜を見ながら宴を開く慣習は平安時代からあったそうです。当時は貴族の間でのみ行われていたのが、江戸時代には庶民にも広まっていったとのこと。今も昔も、満開に咲く桜はきれいなもので、「入学式の傍らには桜」となくてはならない定番となっています。

さて、三木山陽病院でもこの4月から多くの新入職員を迎えました。看護部、薬剤部、リハビリテーション科など、いろいろな部門に病院スタッフが加わりました。また、常勤医師として内科2名、整形外科1名、泌尿器科1名も加わりました。皮膚科も、数名の医師で週5回の外来を担当することになっています。

スタッフが増えても、病院の理念「心と技術の調和した優しく信頼される病院に」を忘れることなく歩んで行きたいと、年度の始まりに桜を見ながらあらためて思います。

副院長 三宅 一彰

【病院の理念】

心と技術の調和した、優しく信頼される病院に

【基本方針】

- 優しく心のこもった医療を提供する。
- 患者様の権利を尊重し、人のつながりを大切にする。
- 最新の知識と技術の向上につとめ、良質な医療を実践する。
- 地域の医療ニーズに応える医療サービスを提供する。
- 安全と安心の介護療養環境を創造する。
- 職員がほこりの持てる病院であるよう、共通の目標を持って自己研鑽に努める。

【患者様の権利】

当院は患者様の権利をまとめたリスボン宣言に基づき、患者様に次のような権利があることを宣言いたします。

1. 個人として常に人格を尊重される権利
2. 良質な医療を平等に受ける権利
3. 十分な説明を受ける権利
4. 自分が受ける医療に参加し、自ら決定する権利
5. セカンドオピニオンを求める権利
6. 個人のプライバシーが守られる権利



むかい まさとし
向井 雅俊医師をご紹介します！

愛媛大学医学部を卒業後、出身地である大阪に戻り、大阪大学泌尿器科学に入局しました。その後、大阪府下や倉敷市など、各地の病院で外来、病棟管理、手術といった泌尿器科分野を幅広く経験しました。前立腺癌を中心とした癌の研究に従事するため、大阪大学大学院に進学し、4年後に学位を取得したのち、府下のがん拠点病院で再び泌尿器科の先進診療に当たりました。癌の診療を中心に、非常に多忙な時間を送っているうちに、多くの患者さんに対して自分は十分に向き合えていないという思いが強くなり、大阪を離れて全人的な医療に携わることを決意しました。その後、在宅医療や緩和医療を経験することで、医療、介護の新たな面への気づきを得ることが出来ました。この間に、平成26年10月から三木山陽病院には非常勤で勤務してきました。

三木山陽病院では森田院長をはじめ、スタッフの人柄、仕事への取り組みに魅力を感じていましたので、この度、常勤医として迎えていただいたことは希望が叶ったことであり、それとともに地域の泌尿器科診療を担う責任をより感じているところでもあります。

EBM (Evidence-based Medicine : 根拠に基づいた医療) という言葉があり、これは最近では一般にもずいぶん定着している、医療の基本となるととても大切な概念です。一方、NBM (Narrative-based Medicine : 物語と対話に基づいた医療) という概念があります。これは患者さんの語りを通じて、病気の背景や人間関係を理解し、問題に対して全人的にアプローチしていこうとする手法です。三木山陽病院は、EBMとNBMを両輪とした医療の実践がすでに始まっている環境だと感じています。泌尿器科の内容でお困りの方はぜひ、ご相談にお越しください。



専門 : 泌尿器科学一般、
癌治療、緩和医療
趣味 : テニス、読書
認定医 : 泌尿器科認定医・
指導医、癌治療認定医、
日本医師会認定産業医、
緩和ケア研修会修了



はねだ まさひこ
羽田 勝彦医師をご紹介します！

平成20年に弘前大学医学部を卒業後、枚方市民病院で初期研修を終了し、JCHO大阪病院(旧大阪厚生年金病院)、兵庫県立西宮病院、神戸大学医学部附属病院、神戸百年記念病院を経て、平成27年4月より三木山陽病院整形外科の夜間診察(金曜日)を担当させて頂いておりました。そして、平成28年4月より、整形外科で勤務させて頂くこととなりました。

整形外科では、骨・関節・脊椎脊髄・神経など、運動器の外傷や疾患を診療しております。日本では、高齢化社会が進んでおり、それに伴い骨粗鬆症の患者さんも年々増加の一途を辿っており、現時点で1300万人と推測されています。骨粗鬆症では、椎体・前腕骨・大腿骨・上腕骨などの骨折が生じやすく、骨折を予防することがとても大切です。



趣味 : テニス
認定医 : 日本整形外科学会
認定、整形外科専門医

専門的治療はもちろん、安心して受診頂けるように、常に最善な方針と治療が提供できるように努力して行きたいと思っておりますので、是非ご相談ください。



かすが
春日

たかおみ

崇臣医師をご紹介します！

はじめまして！私は平成23年に東京女子医科大学病院糖尿病センターに入局して、糖尿病及びその合併症を中心に診療を重ねて参りました。今回、御縁がありまして三木山陽病院へ勤務させていただくことになりました。これまで専門としていた糖尿病はもちろんのこと、内科疾患を全般的に、外来・病棟業務を担当させていただきます。常に患者様一人一人との対話を大切にし、患者様本人が病気としっかり向き合いながら、それをサポートしていけるドクターでありたいと思っております。是非、外来でも病棟でも気軽にお声をかけてくださいね。

また生活習慣の中で運動療法を実践しようとしているキックボクシングは、今では数少ない特技のひとつになりました。長年キックボクシングを続ける中で、自分でも食事や運動といった基本的な事柄が日々の自身の心と体の健康に如何に大切であるかを気付かされました。薬や難しい検査ばかりではなく、そのような日々の基本的な事柄を大切にしながら皆様と健康について一緒に考えていければ幸いです。どうぞ、宜しくお願い致します。



趣味：キックボクシング、
欧州サッカー観戦

認定医：日本内科学会認定医



あかまつ
赤松

たかゆき

敬之医師をご紹介します！

平成26年度近畿大学医学部を卒業。
大阪府済生会茨木病院にて初期臨床研修終了し、平成28年度4月より三木山陽病院にお世話になることになりました。
私はすべての患者さまを自分の家族と思って接することを理念としています。

病気だけではなく社会的な要因も考えながら治療していきたいと思っています。まだまだ勉強中の身ではありますが、三木市の地域の住民の方の力になれるよう頑張っていきますのでよろしくお願い致します。

何でも気軽にご相談ください。



趣味：ゴルフ

認定医：日本医師会スポーツ認定医



ひなまつり会 3階病棟

3月1日に3階病棟でひなまつり会が行われました。

今回は三木マジッククラブの方にたくさんのショーを披露して頂き、普段見ることのない不思議なショーに驚きの声があがり、拍手がわきました。

短い時間でしたが、楽しいひとときを過ごしました。



ひなまつり会 スマイル保育園

ひな祭りは、紙の人形をこすって病気や悪い所を移し、川に流す「流しびな」という風習と、「ひいなあそび」という人形遊びが結びついてできたといわれています。男の子も女の子も健康を喜び願う行事として、みんなでお祝いしました。

子ども達が制作した可愛いお雛様がいっぱいです！！



お知らせ

* 4月から整形外科の蓑田正也医師から、羽田勝彦医師に変更となります。

アクセス MAP



医療法人社団 朋優会
三木山陽病院

〒673-0501

三木市志染町吉田 1213-1

TEL 0794-85-3061

FAX 0794-85-3582

<http://www.mikisanyo-hp.com>

E-mail: info@mikisanyo-hp.com